

子育てを楽しもう

9月の行事

● 加茂野児童館 ●

開館時間 9:00～12:00 13:00～17:00

休館日 日・祝日 ☆土曜日は、一日開いています

行事のある日でも児童クラブ室で遊べます

電話 28・8878

子育て相談 9:00～16:30(日・祝日以外)

<未就園児対象>

なかよしデー

14日(金)

午前11時～11時45分

絵本の読み聞かせ 随時

<小学生対象>

囲碁クラブ…毎週土曜日

午前9時～10時

手芸クラブ…29日(土)

午後1時30分～3時

「ポーチ」

※糸、縫い針、待ち針、布30センチ四方をお持ちください

<誰でも>

ゲームで遊ぼう「ブーメランを作って遊ぼう」

8日(土) 午前10時30分～11時

● サンサンルーム ●

開館時間 9:00～16:30

休館日 日・祝日 電話 27・6555

子育て相談 9:00～16:30(平日のみ)

<おはなし広場> 毎週火曜日

毎月第3火曜日は、読み聞かせボランティアの人がお話をしてくれます。

いつもとは一味違ったお話が聞けます。

<遊びの広場> 毎週金曜日

※いずれも、午前10時30分～

<発育測定> 5日(水) 午前10時30分～11時30分

その他の子育てサロン会場

すくすくルーム(みのかも健康の森)

毎週月・火曜日

にこにこルーム(津田左右吉記念館)

毎週木・金曜日

※開館時間は、いずれも午前10時から午後3時まで

だんらん

川と人のつながり

第101話



「木曾のかけはし、太田の渡し、碓氷峠がなくばよい」とうたわれ、安藤広重の浮世絵にも描かれた太田の渡し(「太田の渡し」とは、中山道の伏見宿と太田宿の間の木曾川に設けられた渡し舟のことで、現在の太田橋の下流にありました)。木曾川は、わたしたち美濃加茂市民にとって身近な川であり、昔から人々の生活に大きなかわりのある川です。

木曾や飛騨の木材は、古くから川に流して運ばれていました。室町時代から筏(いかだ)を組んで流すようになったといわれています。江戸時代には、組織的に行われるようになり、筏乗りに乗り継がれ、名古屋の白鳥湊や桑名まで流送されていきました。また、美濃加茂市内で生産されたお米や農林水産物の多くも、舟で笠松や名古屋、桑名などへ盛んに運ばれていました。こうした川舟は、明治に入って人の交流が盛んになると、伊勢参りや修学旅行などのために人も乗せるようになったようです。

その風景が、ヨーロッパのライオン川に似ているとして、太田橋から犬山橋までの約13キロメートル

間は、「日本ライン」と命名され、観光用の船下りが大正時代から本格的に開始されました。四季折々の風景と両岸に連なる奇岩怪石がおりなす自然の芸術は、訪れた人を魅了しています。

木曾川は、人々の生活に潤いを与えてくれる一方で、洪水という大きな被害も引き起こしてきました。そこには、木曾川と人との闘いがありました。ひとたび洪水が起きると、大量の土砂が田畑を埋め、作物を台無しにするばかりか、家を押し流し人々を傷つけ、時には生命を奪ってしまうこともありました。昭和58年9月28日に美濃加茂市を襲った未曾有の洪水は、記憶に残っている人も多いことでしょう。

現在では、洪水の被害を受ける可能性は低くなり、安心して過ごせるようになりましたが、それでも大水が出るとやはり心配になってしまふのはわたしだけでしょいか…。これは、川とともに生きる者にとって、避けることのできないことなのかもしれませんね。

(文責 西尾)